

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	農業基盤課	職	課長	氏名	西川 透
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	農業・農村が持つ多面的な機能を活用した体験型環境教育の推進	実施校の割合	%	100 (H27)	73.2 (H25)	(H26)	

施策	施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対する主要な取り組み					評価	
	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値 (年度)	事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の 有効性	今後の 方向性	
施策1	課題1 「いしかわ田んぼの学校」の実施支援	実施校の割合	%	100 (H27)	73.2 (H25)	(H26)	いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト事業	小学校	5,174			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	事業開始年度	H12	事業終了予定年度	H27	作 組 織 農業基盤課 成 職・氏名 技師 八木 亜沙美 者 電話番号 076 - 225 - 1632 内線 4742
	根拠法令 ・計画等	いしかわの食と農業・農村ビジョン いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト実施要領			

事業の目的

本事業は、農業や農作物への理解促進と環境に対する豊かな感性を持つ子どもを育てていくために、田んぼ、水路、ため池などを遊びと学びの場とし、農業・農村が持つ多面的な機能を活用した体験型の環境教育を実施するものである。

事業の概要

1 事業推進体制の整備

- (1) 田んぼの学校推進協議会の運営(市町に設置する事業実施機関)
 - <構成員> 各農林総合事務所、各地方教育事務所、市町教育委員会、小学校教員、保護者、市町、土地改良区、JA、地域住民、農業者など
 - ・関係機関の連絡調整

2 指導者の養成

- (1) 学校教員等農業教育指導者研修(事業主体:県)
 - ・学校教師に対する農業理解の促進

3 総合学習体験プログラム

- (1) 米づくり体験校の指定(事業主体:JA石川県中央会)
 - ・田植え、草取り、稲刈り等の作業体験、収穫祭等
- (2) 農業農村体験校の指定(事業主体:市町)
 - ・地域の果樹、野菜等の栽培体験、収穫祭等
 - ・ビオトープづくり、生き物調査・観察等

これまでの見直し状況

<平成17年度>

- ・指導者等養成事業内容の見直し 県外研修→県内研修
- ・地域農産物栽培体験及び森の体験の事業主体の見直し 県→市町

<平成18年度>

- ・推進協議会事務局の運営の見直し 県農林総合事務所→市町(より地域に密着した事業推進)

<平成19年度>

- ・事業主体を市町へ移行後も事業の円滑な推進がなされていることから、検討会の開催を終了
- ・田んぼの学校指導員が目標人数に達したため、指導者養成研修を終了(目標80人→実績83人)
- ・地域農産物栽培体験、農業農村多面的機能体験のメニュー毎の枠組を廃し、「農業農村体験」に統一(2つのメニューの合計額を補助対象経費に変更)→補助金の運用を弾力化
- ・森林環境税の新事業設立に伴い、森の体験のメニューを等事業から削除

<平成20年度>

- ・石川県ふるさと水と土保全基金の活用法の弾力化に伴い、事業の財源を一般財源から基金へ移行

施策・課題の状況					
施策	農業・農村が持つ多面的な機能を活用した体験型の環境教育を推進		評価		
課題	いしかわ田んぼの学校」の実施支援				
指標	実施校の割合	単位	%		
目標値			現状値		
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
100	69.3	70.6	71.1	73.2	

事業費					
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 予算	4,033	4,284	3,984	4,484	5,174
事業費 決算	3,697	4,721	3,929	4,437	
一般 予算	0	0	0	0	
財源 決算	0	0	0	0	
事業費累計	75,947	80,668	84,597	89,034	94,208

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		